

進路だより

福島県立あぶくま支援学校

進路指導部通信 第4号

令和3年 3月 10日発行

ご卒業おめでとうございます

進路指導主事 若松 伸司

小学部、中学部、高等部を卒業する児童・生徒の皆さん、そして保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。小学部、中学部を卒業する皆さん、4月からは学習内容や生活環境が変わります。これからも日々の学校生活の中で新しいことに挑戦していきましょう。高等部を卒業する皆さんは新しい世界への旅立ちです。これからは自分も周りも幸せにできる人になってほしいと思います。そのためには「感謝」の思いを常に持つこと、「出会い」を大切にすることです。新たな出会いを楽しみ、夢や希望をこれからも持ちながら、一生懸命社会人として生活していきましょう。

卒業される皆さんのこれからの活躍を期待しています。

◇今年度の進路状況(3/10現在)

〈高等部〉

(順不同、敬称省略)

種別	進路先
企業	株式会社 ヨークベニマル 新小原田店、新潟運輸株式会社 郡山支店、小松製作所郡山工場、株式会社ファーストフーズ福島、株式会社宝来屋本店、株式会社 七拭人、株式会社 エコ、ウエルシア薬局 郡山小原田店、株式会社ウィルオブ・ワーク、日本全薬工業株式会社、佐久間産業株式会社、アズビル金門エナジープロダクツ株式会社 白沢工場、岩通マニュファクチャリング株式会社
進学	宮城障害者職業能力開発校、総合実務科
就労継続支援B型	郡山市緑豊園、すばる作業所、ワークコスモス、ジョブステップ八山田、ワークセンター麦、ぶらすあい、就労継続支援事業所 まこと、ふあみりかんまさかつ、ゆめのまーち、はなのまーち、にじのまーち、あいメッセージ、まあぶる、みどり工房、らでいっしゅ、ふあみりかんあすなろ、ほほえみの間、ふれんどりー大玉、こころの郷 あだたら、なごみ第2、アクセスホームさくら、フレンドシップ、コラッジョ、いわせの家
生活訓練	カレッジ郡山、からふる、生活訓練事業所あじさい館、要田ソーシャルワークセンター アグリット
生活介護	原町共生授産園、RERA たいよう、多機能支援センター ビーボ、ピース∞、カノン、多機能事業所ともに、おーぷんさろん宇宙、からふる+
施設入所支援	アルバ

〈中学部〉

種別	進路先
進学	特別支援学校高等部 (予定)

移行支援会議について

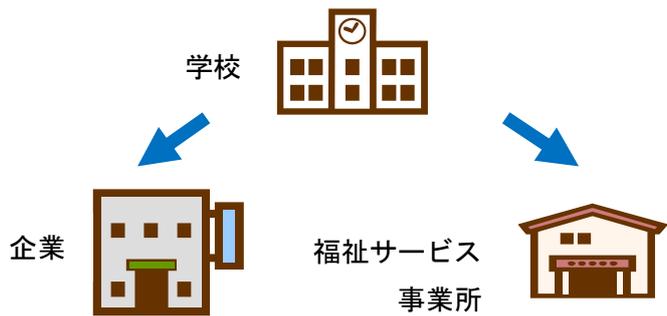
移行支援会議とは、卒業後の進路が決定した生徒に対して、その進路先の企業や福祉サービス事業所等に対し、今までの成長の様子や学校や家での生活の様子、配慮事項や具体的な支援の手立てなどについての情報の引継ぎや共有を目的として行われる会議です。本人、保護者、進路先の担当者の他、担任、進路指導担当教員、相談支援専門員などが参加します。学校から社会生活へ移行するにあたって、これからの生活で共有したい情報を確認し、安定した卒業後の支援につなげていく重要な会議となっています。

卒業後のアフターケア

本校では、卒業後2年間、前期産業現場等における実習期間中や夏季休業中、および必要に応じて卒業時の担任等と連携し、卒業生追指導(アフターケア)を行っています。進路決定はゴールではなく、新しい生活のスタートです。新しい生活環境に1日も早く適応できるように、企業や福祉サービス事業所の担当者と連絡を取り合いながら、アフターケアとして担任や進路担当が現場に伺います。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響から進路先への訪問を控え、平成30年度卒業生については電話等で現状確認をし、令和元年度卒業生の進路先については短時間での訪問を実施しました。アフターケアで卒業生の進路先を訪問させていただいた際には、卒業生の様子を写真に撮り、現在の生活についてなどのインタビューを実施しています。報告書として校内に掲示してあります。是非ご覧ください。

学校から、企業や福祉サービス事業所へ訪問します。



- 卒業後の最初の1年は、新しい環境への適応を中心にアフターケアを行っていきます。
- 20歳を迎える年には、障害基礎年金の手続きの進捗状況を確認しています。

「卒業生体験発表会」を行いました。

今年度は、新型コロナウイルス感染防止対策として、卒業生に來校していただきお話を聞くという形から、各クラスで卒業生が仕事をしている様子のビデオを視聴するという形で実施いたしました。

令和元年度卒業生の先崎優杜さん(ホンダカーズ福島田村センター)、遠藤翔真さん(青木商店)、青野俊介さん(あいメッセージ)の3名の卒業生と、一緒に働く職場の方にご協力いただきました。在校生は先輩の真剣に働く姿や責任をもって仕事に当たる姿を映像で知り、仕事に向かう心構えについて考える機会となりました。また、一緒に働く方からどのような人が職場に求められているかということについて、報告・連絡・相談ができる人、コミュニケーションをとれる人などのお話もあり、日頃学校で学んでいることがとても大切なことであるということも実感したようでした。



職業ガイダンスを実施しました。

高等部では1月21日(木)に、企業就労を希望する1・2年生の生徒を対象に職業ガイダンスを実施しました。今回は就業・生活支援センターの木村美和氏よりご講話いただきました。ハローワークなどの各関係機関がどのような支援を行っているのか、企業で働くためにどのようなことを身に付けておいた方が良いのかなど、生徒に分かりやすく具体的に説明していただきました。感染症拡大防止のため、1年生は各教室でモニターでの受講でしたが、自分の将来についての話ということで真剣に話を聞く姿が見られました。今後の進路を具体的に考えていく上で、とても有意義な時間となりました。

また、1月26日(火)には、保護者を対象にしたガイダンスも行い、ハローワーク郡山の永山貴教氏よりお話をいただきました。企業就労までの流れや、家庭で実践できる就労へ向けた日々の取り組みなどの説明がありました。「本人がどうしたいのが大切！」というポイントが示され、生徒主体の進路決定が重要であるということを確認することができました。

